

脱炭素で地域事業者のサステナブル経営を後押しする SDGs 未来都市×地方銀行の挑戦 (鳥取県日南町)

取組概要

J-クレジット制度を活用した脱炭素社会の実現

日南町は面積の9割を占める豊かな森林を地域固有の“資源”と捉え、二酸化炭素の排出権を取引する国の制度である“J-クレジット”を取得。カーボン・オフセットを通じて、脱炭素化に取り組む企業の環境意識の醸成と実行支援、持続可能な森林整備への財源確保と次世代への投資を目的に、地方銀行と連携したJ-クレジット販売モデルを構築。圏域での森林保全・育成活動とともに、経済循環を促す自律的好循環の取り組みを推進している。

取組の効果

自主財源の乏しい中山間地域の貴重な財源確保へ

J-クレジット販売当初は、販売のノウハウもなく実績がなかったが、企業経営に精通している地方銀行と仲介契約を締結したことで、令和3年度には単年度で103社、販売金額も17,000千円を越え、自主財源の乏しい中山間地域の貴重な財源となっている。また、圏域における脱炭素、ESG経営やSDGsといった社会課題の解決に向けた取り組みを推進している。

創意・工夫した点

全ての企業と契約式を実施

J-クレジット購入企業にメリットとして感じていただけるよう、全社と契約調印式を実施し、SDGs・環境経営の実践について情報発信できるよう工夫している。

他団体へのアドバイス

中山間地域のモデルを目指して

地方創生の推進に向けては、地方銀行との連携は欠かせない。地方創生SDGs金融が提唱されている中「環境の力を活かした持続可能なまちづくり」の実現に向け、中山間地域のモデルとなるまちづくりを行いたい。

人口 4,251人 (R4.1.1現在)

担当 農林課



平井知事も出席して行われた契約調印式



次世代を担う子ども達の人材育成